

ユネスコスクールの活動や成果の発信を

各学校では、季節を生かした活動や環境・福祉・職場体験などESDに関する活動が行われていると思います。このような活動が、今後まとめや発信の活動につながっていくと思います。

ユネスコスクールガイドラインにも「成果を積極的に発信することを通じて、持続発展教育(ESD)の理念普及に努めること。」とあります。各学校でも、保護者、地域へ活動の様子や子供の感想などを学校だよりやMボードなどで発信をしていくことがユネスコスクールの理念普及につながると思います。

「ユネスコスクール子どもサミット」スライドショーの作成・提出について

スライドショー作成については、作成時間やスキルの課題等もありますので「基本形式」で作成された方が良いと思います。ただ、「応用形式」も作成可能な学校は取組をお願いします。

【音声あり、音声なし作品共通】

- ① パソコンを使用して作成してください。
- ② 作品時間：1分以上1分30秒程度。
- ③ 使用ソフト：ソフトの指定は特にありません。
- ④ 使用する写真は、必ず被写体の肖像権および著作権等について許可を得たものを使用してください。



【基本形式：音声なし】

- ① ppt形式(パワーポイント)
- ② 写真と文字
- ③ スライド時間の設定(写真の枚数から時間の設定)*自動設定にします。

【応用形式：音声あり】

- ① aviまたは、wmv形式
 - ② 詳しくは、「第5回私のまちのたからものスライドショーコンテスト」ホームページの**作品づくりマニュアル**を見ていただいて作成してください。
- 1 提出方法 電子データ フォルダーには学校名を記入
全校共有>>小中特合同>>★ユネスコスクール子どもサミット関係
>>★スライドショー(基本形式か応用形式へ)
 - 2 締切 平成25年12月13日(金)
 - 3 作品例 全校共有の「ユネスコ子どもサミット」>>スライドショーのフォルダに「基本形式」と「応用形式」のスライド(大正小)を作成していますので、参考にさせていただきます。

大牟田市立特別支援学校の実践

見附特別支援学校との交流－900kmの距離を超えて－

大牟田特別支援学校では、本校と同じくユネスコスクールに加盟している新潟県見附市立見附特別支援学校との900kmを超えた交流が始まりました。6月には、見附特別支援学校から、小学部の子どもたちが作成した紫陽花の貼り絵とともに、子どもたちからのメッセージが届き、本校の子どもたちは大喜びでした。

本校からは、小学部の子どもたちが本校のシンボルであるひまわりをモチーフにした模造紙1枚分ほどの作品を作り、メッセージとともに見附特別支援学校に送りました。写真は、全校集会で校長先生が作品の紹介とともに、交流の意義について話をされているところです。



大牟田市立三池小学校の実践

地域体験学習を通して

三池小学校の持続発展学習では地域の「人」「自然」「文化」に関心を持ち、課題を意欲的に解決したり主体的に行動したりする子どもを育てることを目標にしています。

創立140周年の三池小学校の校区は、豊かな自然に恵まれており、史跡や文化財もたくさんあります。これらを実際に見たり触れたりするために地域体験学習を10月30日(水)に行いました。

1、2年生は定林寺、紹運寺、普光寺、弁慶の足跡を巡りました。3～6年生は縦割りグループで、紹運寺、弁慶の足跡、普光寺を巡った後、三池山に登りました。天候にも恵まれ、三池の自然、史跡や文化財に触れる体験ができました。

今後、総合的な学習の時間で、地域の宝を調べ、主体的な活動を取り組んでいきたいと思えます。

